


岡見小学校だより は き ょ う  波 響	子どもにつけたい力 これからの時代を生き抜く力 【自治力】 ひとつづめる力 【学力】 学びに向かう力 【体力】 やりきる力	めざす子ども像 思いやりとやる気 お:思いやりのある子 か:考え創りだす子 み:自らきたえる子	令和6年 3月12日 No.22 (通算No.704) 校長 細川寿俊
---	---	---	---

学校評価の結果をお知らせします。

中期目標	短期目標	達成のための方策	アンケート		
			教職員	児童	保護者
考え創り出す子 【学力】 学びに向かう力	授業改善	「学ぶ力」の育成を目指し、わくわくするような楽しい授業を目指す。	A 100%	A 86%	A 100%
	図書館活用教育	「調べる」「考える」「表す」「伝える」など総合的な学力の育成を目指す。	A 81%	A 81%	C 44%
	基礎学力	「学んだ力」の育成に向け、基礎的な学力の向上を図る。	A 96%	A 83%	C 47%
思いやりのある子 【自治力】 ひとつづめる力	学級経営	ルールとリレーションのある学級集団を目指す。	A 100%	A 91%	A 94%
	特別活動	特別活動を充実させ、「自治的活動」を活性化することで「納得解」を作る力を育てる。	A 96%	A 89%	A 100%
	ふるさと教育	ふるさとと主体的にかかわることで「自己有用感」を高める。	B 75%	A 98%	A 98%
自らきたえる子 【体力】 やりきる力	児童理解	「心の安定」を図り、学校や社会生活を前向きな気持ちで営めるよう、「背景」「必然性」「願い」「当たり前」の4つの視点をもって、「深い児童理解」を進める。	A 100%	A 93%	A 96%
	生活習慣	「充実した心と体」を育てるために、基本的な生活習慣の確立を図る。	B 86%	A 86%	A 80%

割合は、肯定的な回答の割合を示す。おおむね80%以上をA、60~80%をB、60%以下をCとする。

【総評】

全体的に、高い評価結果でした。

特に「授業改善」「学級経営」「特別活動」「児童理解」の四項目は、教職員・児童・保護者の肯定的な回答の平均が95%と極めて高い結果でした。この四項目は、本校の日常的な取組に関するものです。日常的な取組を高く評価していただき大変ありがたく感じています。

逆に「図書館活用教育」「基礎学力」の二つの項目の保護者アンケートの結果が「C」となっています。これらの項目の保護者の方への質問内容は「家読（うちどく…家庭での読書）」と「家庭学習」についてです。「C」という結果には、「もっと学習や読書をしてほしい。」という願いを含んだ数字だととらえています。

右には、これらの結果を踏まえた改善案を掲載しています。

また、岡見小HPには「達成のための方策」の具体的な内容、児童や保護者への質問項目、学校評議員の皆様へ頂いたご意見なども掲載する予定です。

【改善案】

図書館教育をテーマとした研究授業は計画通り行えたが、要約学習や思考ツールを用いた探究学習など、さらに追求したいテーマが見つかった。来年度は複式教育の研修的な内容を進める予定だが、そこに、これらの視点も取り入れていきたい。

「思いやりのある子」の評価項目については、児童・保護者ともに概ね高い評価であり、取組が充実しているものと考えられる。

来年度は5・6年生が複式学級となることもあり、三隅小との交流学習、ふるさと学習等においては、内容や実施方法の工夫が必要となる。

タイムマネジメントにおいては、今年度の学校保健委員会で取り組んだ内容が効果を上げたものと思われる。

引き続き、機会をとらえての指導を継続する必要がある。